

# 『群鶴』論文コンクール表彰式

## ～わたしたちができること～

令和6年1月11日(木)に、令和5年度『群鶴』論文コンクール表彰式が行われました。昭和45年に始まったこのコンクールは、今年度で54年目を迎えます。主催団体である公共財団法人「加藤記念奨学会」は、事業の一環として優秀者の表彰状及び副賞、優秀作品集の制作を援助してきました。

今年度のテーマは、『わたしたちができること』で、1年次生は、現代に蔓延るさまざまな社会問題を扱う論文に取り組みました。2年次生は、本巢市をテーマにして、地域に密着した問題を扱う論文に取り組みました。最優秀賞には、1年1組 笠井 詞葉さんの「社会のバリアフリー化を進める為に」が選出されました。

表彰式は加藤記念奨学会創設者である加藤 利一氏の肖像画が見守る中で厳かに執り行われました。

加藤利一氏(肖像)が見守る中での表彰式



加藤利一氏(肖像)  
池田校長、受賞者